

各 位

上場会社名	日本フォームサービス株式会社
代表者	取締役社長 山下 岳英
(コード番号)	7869)
問合せ先責任者	取締役総務部長兼介護事業部担当 大海原 秀人
(TEL)	03-3636-0011)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年11月14日に公表いたしました平成26年9月期第2四半期累計期間(平成25年10月1日～平成26年3月31日)業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成26年9月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,370	120	135	80	20.07
今回修正予想(B)	1,747	88	115	115	28.95
増減額(B-A)	△622	△31	△19	35	
増減率(%)	△26.3	△26.6	△14.7	44.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年9月期第2四半期)	2,385	99	120	64	16.22

平成26年9月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,370	125	74	18.57
今回修正予想(B)	1,733	101	105	26.52
増減額(B-A)	△636	△23	31	
増減率(%)	△26.8	△19.1	42.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年9月期第2四半期)	2,384	107	56	14.26

#### 修正の理由

連結業績予想の売上高につきましては、函物及び機械設備関連事業において、19インチラック、アーム関連製品については堅調に売上を確保することができておりますが、再生エネルギー関連製品の大口案件が第3四半期以降の工期にずれ込むことにより、売上高の確保にはいたらず、当初予定を下回る見込みとなりました。売上高が減少したことから、利益率の高いラック関連製品やアーム関連製品の拡販をすすめたものの、介護事業部において現サービスの充実および新規事業を見据えた人材の新規獲得や設備投資を行った結果、当初予想より経常損失が増加したことにより、函物及び機械設備関連事業における利益でカバーしきれず、営業利益、経常利益については当初予想を下回る結果となりました。四半期純利益につきましては、土地売却による固定資産売却益を計上したため、当初予想を大きく上回る見込みです。個別業績予想につきましても、連結業績予想と同様の理由により、売上高、営業利益、経常利益は当初予想を下回り、当期純利益については当初予想を上回る結果となりました。なお、平成26年9月期通期業績予想につきましては、前回発表予想から修正しておりません。但し、修正が必要となる場合は速やかに公表いたします。

(注) 上記の予想につきましては、あくまでも本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上